

農協出資型法人による新規就農者の育成

信州うえだ農協(長野県)

取組の概要

- 農協の出資法人が、独立就農を目指す新規就農者を直接雇用し、育成に向けた研修を実施(平成21年から開始)
- 研修圃場は、農協の出資法人が借り受けた耕作放棄地や引き受け手のない農地を活用
- 研修終了後は、研修圃場をそのまま研修生に経営農地として引き継がせるなど、新規就農者の独立を支援し、産地の維持・存続につなげている(平成24年から開始)

事業化(プロジェクト化)成功のポイント

1 独立就農を目指す新規就農者の育成

農協の出資法人(有)信州うえだファームが、独立就農を目指す新規就農者を直接雇用することで、経営リスクのない環境下で実践的な栽培技術の研修(2年間)を実施。

- ・ 研修作目は、管内の主要農産物である果樹(ブドウ、リンゴ、ナシ)、野菜(パプリカ、トマト、ブロッコリー)等から選択
- ・ 1年目は日々の作業を通じた栽培技術の習得、2年目は個々に研修圃場を設定し、栽培管理を実践

2 耕作放棄地等を活用した研修の実施

研修圃場は、(有)信州うえだファームが再生した耕作放棄地や、引き受け手のない農地を活用することにより、耕作放棄地の解消や発生を抑制。

3 新規就農者の独立支援と産地の維持・存続

- ① 研修終了後の研修圃場は、研修生が独立就農後も安心して農業経営ができるよう、補助事業等を活用して、ハウスの改修や果樹の改植等の環境を整備した上で経営農地として斡旋。
- ② 独立就農後は、地方公共団体、農協、地域住民が一体となり、栽培技術の指導はもとより、地域への円滑な受入等にも協力。
- ③ 独立就農者へ農地を承継することにより、将来にわたって産地の維持・存続を図るとともに、地域活性化に貢献。

取組の実績

<新規就農者育成事業>

(平成21~28年までの実績)

- ① 研修生の受入人数:31名
- ② うち、研修終了者:25名(6名は研修中)
- ③ うち、就農者数:20名 $\frac{③}{②}=80\%$
 - ・ 主な経営作目:果樹(ブドウ、リンゴ、ナシ)、施設野菜(パプリカ他)
 - ・ 全20名がJA管内で独立就農

<樹園地承継推進事業>

(平成24~28年までの実績)

- ① 承継希望として一時預かりした果樹園地面積:2,132a
- ② 研修終了者への承継面積:769a $\frac{②}{①}=36\%$
 - ・ 承継人数:7名